

## 令和6年度第1回桑名市総合教育会議 議事要旨

日 時・場 所	令和6年7月31日（木）午後1時30分～3時00分 桑名市役所 3階第2会議室
出 席 者	桑名市長 教育長 教育委員：4名 事務局：9名
議 事 次 第	1. 桑名市立小中学校再編について 2. 子ども・保護者・地域・学校・教育委員会をむすぶ新たなコミュニケーションについて 3. その他
要 旨	<p>1. 桑名市立小中学校再編について 事務局より資料に基づいて説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立地から敷地拡張が難しい学校もあるが、校舎の老朽化が進んでいることもあり早めに方針を考えることが必要である。</li> <li>・小さな規模の学校を残す取り組みが各地でされている。一つのスタイルに馴染めない子どもたちもいるので、桑名市にも小規模特認校があってもいい。</li> <li>・地域の問題や財政面での問題もあり一度に造ることは簡単にはいかないが、いろんな工夫をして子どもたちを安全で一定の規模があるということがよい。</li> <li>・学区が広がると家まで遠くなる子どもたちの通学について、安全性を確保する必要がある。</li> <li>・学校施設は避難場所などに活用されているが、なくなるとどこがそういう場所となるのか。また、そういう場所として再活用されるものなのか。</li> <li>・新しい世代が西の地域へ集まりつつある話がある。人口分布と併せて喫緊性のある地区についてももう少し検討する必要がある。</li> <li>・どこの学校でも雨漏りがひどくそのたびごとに直している。古いところから再編を考えたい。</li> <li>・小中一貫校が将来何校になるか、学校区分けや土地、規模を考慮して検討しているところである。</li> <li>・小学校、中学校が一体となった義務教育学校を作ろうとすると、分散進学は大きな課題である。一気に小中一貫校を建てれば分散進学はそれほど問題にはならないが、一校ずつ建て、分散進学で半分半分に分かると、小規模校対策として再建を行うのにあたっているのが、逆に分解してしまう問題が発生してしまう。学童や地域コミュニティが小学校区単位で形成されていることもあり、その中でどうしていくのが一番ベストなのか検討していきたい。</li> <li>・場所は、分散進学しなくてもいい地区の真ん中に小中一貫校を建てるのがスムーズにいくところがあるが、既存の学校地プラスアルファのところ建て移行していくのが子どもたちにとって一番良いと考える。</li> <li>・現在の条件から考えるのではなく、桑名市として例えば6校であればこの辺にあるといいということから考えると将来的に見て理想の形に収まっていくのではないかと。</li> </ul>

## 2. 子ども・保護者・地域・学校・教育委員会をむすぶ新たなコミュニケーションについて

事務局より資料に基づいて説明

・桑名市は ICT をよく使っているというデータがあり素晴らしい。システムの中に保護者同士連絡が取れる。保護者プラス先生で連絡が取れるような仕組みがあってもよい。

・iPad を早い段階で購入していることについて感謝の声が多かった。

・学校内で紙のプリントを使用することが今も多いが、それを減らしていく視点は大事である。

・教師にも得意不得意はあるが、ペーパーレス化は徐々に広がりつつある。中には紙でやらなくてはいけないものもあるので使い分ける必要がある。小中一貫校のブロックで、中学校で使用することを目的とした小学校での iPad の使い方を研修で行うなど議論はできている。

・デジタルツールは、コロナ禍で、明日休みになるかもしれないというような緊急の連絡を保護者に一斉にする必要性があり、当時任意で使っていたものを活用したことから学校に取り入れられた。現在統一性はないが将来的に統一することはできる。

・スマートフォンを持っているのでほぼ登録できている。どうしてもという方は直接連絡をしているがごくわずかである。「マチコミ」の場合、その他の欄を使用して教師に個別のメッセージを送ることもできる。そのメッセージを掴みながら対応している。

・教育委員会から特別警戒アラートのような、一斉に発信できるメールの作り方を考えている。

・三重県で、タブレット講習で、県で統一して調達しようというところまで話はあったが既存の3つのデバイスを選んでということだったので、統一するというのは難しい。

・今回のテーマに市役所を加えると、市役所からの連絡や保育所からの連絡ができる。そういう形で進めるとよい。

・教師が職場で使用しているパソコンについては、仕事の効率化を図るため新しいものにするなど環境を整えることが必要であると思われる。来年度の更新時をタイミングとして考えている。

## 3. その他

事務局より、次回の予定について連絡

(以上)